

# 公民館報 まつもと

発行  
2023  
1/30

- 問い合わせ 中央公民館  
TEL 32-1132 FAX 37-1153
- 編集 公民館報編集委員会
- 印刷 株式会社 プラルト

松本城イルミネーション





1月8日 令和5年 ハタチの記念式典 松本市総合体育館

梓川地区から参加の皆さん

※令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、これまでの「成人式」から「ハタチの記念式典」に名称が変更され開催されました。

# 梓川公民館報

梓川の世帯数・人口

世帯数	4,801戸
人口	12,339人
男	6,101人
女	6,238人

(令和5年1.1現在)



### 3年ぶりに開催 梓川文化祭美術展

第36回梓川文化祭(梓秋祭)美術展が、11月10日(木)～11月13日(日)に梓川アカデミア館で開催され、梓川地区内外から多くの方が訪れました。美術展には、梓川地区で活動する14の団体や個人の絵画や木彫り・書道・短歌・写真など、およそ400点の力作

が展示されました。また、梓川小学校の児童が授業で描いた絵画や、梓川中学校美術部の絵画や造形作品など、子どもたちの感性豊かな作品がおよそ80点展示されました。来場者からは、「どの作品もとても素晴らしく、来年もまた来たい」、「梓川地区の魅力が気付かされた作品が多くあった」、「梓川研究会の梓川の災害や川の歴史、梓川地区をはじめ松本平の歴史と文化を学ぶ事ができ大変興味深いものだった」などの声が聞かれました。

## 梓川地区「いいね!」写真コンテスト 入賞作品



『春爛漫』 『あじさいと滝』 『水溜りにサラブレット走る』 『ひろばウォーク』

梓川中学校の生徒の皆さんに、梓川の魅力を感じる「いいね!」と思う写真を選んでいただきました。

# 8ミリフィルムが松本の歴史

動画はこちら



かつて松本の地で生きた人々の記憶をつないでいくことは、今を生きる私たちの重要な務めです。思い出が詰まった8ミリフィルムを集め、地域映画を制作する取組みが始まっています。

## 8ミリフィルム

皆さんは、ビデオテープやDVDが普及する以前に、8ミリフィルムと呼ばれる映像記録媒体があったことを覚えていませんか。8ミリフィルムの多くが、「ホームムービー」と呼ばれる家庭の記録であり、子どもの頃の思い出が8ミリフィルムに収められている方も多いかもしれません。

8ミリフィルムは、1960年代半ばから1980年代にかけて一般に普及しました。しかし、製造販売は2012年に一旦は終了し、現在は手に入れることができなく、現



今は貴重になった8ミリフィルム

像することも困難です。当時の貴重な記録を収めたフィルムの多くは、行くあてがなく処分されるか、たんすの肥しになっています。

## 地域映画のつくり残

8ミリフィルムを活用し、「地域映画」の制作に取り組む団体が「まつもとフィルムコモンズ」です。大学生から80代まで幅広い世代の市民が活動に参加しており、制作活動に地域映画の上映や座談会を通して交流しています。

今年度は1時間ほどの地域映画を完成させるため、松本で撮影された8ミリフィルムを広く市民に募集しました。現在、345本のフィルムが集まっています。合わせて、撮影者へのインタビューや映画のBGMに使用する音源の録音も行い、2月の上映会に向け編集作業を進めています。

## 時代をこぼす役割

監督の三好大輔さんは「過



監督と事務局を担う三好さん夫婦

去と現在、未来をつなぐことができる点が地域映画の魅力。映像を見ることで自身の記憶を呼び起こす機会になる」と話します。一本の8ミリフィルムに収められた映像は、わずか3分ほどの短い映像ですが、そこには古き良き松本の姿と、そこに住む人々の息遣いが映像として記録されています。その映像を見て学び、見た人同士で語り合うなかで、未来へと記憶をつなげていくことができます。

**地域映画**  
「まつもと日和」完成上映会  
開始時間  
2月25日(土) 13:30・17:00  
2月26日(日) 10:00・14:00・19:00  
場所  
Mウイング6階  
※入場無料/各回先着順

# わがまち自慢(中央地区) ペタンクの県代表に

令和5年10月に開催される「ねりんピック愛媛」ペタンク競技の長野県代表になりました。



月に2回の全員練習(蚕糸記念公園グランド)

10月22日に伊那市で行われた「2022信州ねりんピックスポーツ交流大会」ペタンクの部に中央地区から出場したのは3チーム、その中のCチーム(高野和子・藤森典人・山本文彦)3名が見事優勝し、全国大会への切符を手に入れました。

実績も着実に重ねています。優勝チームの高野和子さんは「全国大会で採用されるルールを学んでいる。メンバー11人ほぼ全員が参加し、毎回試合形式での練習もしている。目標はまずは1勝したい」と意気込みを語りました。「ねりんピック愛媛2023」は令和5年10月に行われます。60歳以上の幅広い方が参加できる10種目の競技が繰り広げられます。

**ペタンク競技のルール**  
(室内版・今回の競技ルールとは異なります)  
【提供:(公財)日本レクリエーション協会】



# 未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

第38回公民館研究集会 令和4年度地域づくり市民活動研究集会

●テーマ **未来を切り拓く学びと自治 ～ポストコロナにおける地域再生～**

●期日 **2月19日(日)** ●会場 **松本市中央公民館(Mウイング)**

※第8分科会のみ、坊主山クラインガルテッククラブハウス

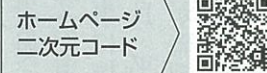
日 程	9:00	9:30～9:55	10:00～12:00	12:00～13:00	13:00～16:30
	受付	開会式	全体会(基調講演・対談)	休憩・昼食	分科会

## 内 容

■基調講演・対談 **「未来に託せる地域を目指す人々の学びと取り組み」**

講 師 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平 氏

聞き手 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授 向井 健 氏



分科会	テーマ
第1分科会	子どもたちの生きる力を高めるために ～地域を舞台とした体験・学びから見えるもの～
第2分科会	松本の伝統行事を次世代につなげよう! ～ぼんぼんと青山様・三九郎～
第3分科会	「地域行事」って必要なの? ～現代における地域行事は今～
第4分科会	顔が見える関係づくり ～気軽に使える町内公民館～
第5分科会	誰もが安心して暮らせる地域を目指して!! ～地域包括ケア・生活支援体制整備～
第6分科会	地域防災を進めるために必要なこと ～地域づくりの視点から考える～
第7分科会	ワカモノ×地域=賑わす ～若い世代の地域参加を考えよう～
第8分科会	中山間地域の持続可能な地域づくり ～奈川・四賀の事例から考える～

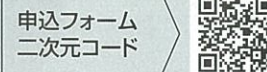
【主催】松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

【主管】未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

参加申込方法 2月10日(金)までに、必要事項(氏名/住所/電話番号/参加を希望する分科会/手話・要約筆記・託児保育の必要の有無)を専用フォームもしくは最寄りの地区公民館・集會事務局(中央公民館)へ電子メール、電話、FAX、窓口でお申込みください。

松本市教育委員会 生涯学習課・中央公民館(Mウイング)

事務局 〒390-0811 松本市中央1丁目18-1 TEL 0263-32-1132 / FAX 0263-37-1157 E-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp



## おこひる

3年ぶりの長距離ドライブをしてきた。コロナの影響で遠ざかっていた日常がようやく元に戻り始めているような雰囲気になりつつあるように感じている。▼今回は40年来の友人達と群馬で再会し、コロナでのびのびになっていた宿泊場所の設立記念の品物も渡してきた。コロナ禍前までは、年1回は顔を合わせてそれぞれが無事を確認していたが、この3年間はお互いに自粛していた。片道3時間で200キロの移動がまだ無事にできるかなとふと思っている自分がいた。そろそろ微妙に体力も落ちてきているのが自分でも認識できる年代にかかってきていて、内心心配ではあったがなんとか無事に往復して来れた。▼久しぶりに会った友人達の容姿は、それなりに歳を重ねていた。次回はみんなの出会いの原点になる場所で開催する計画をしてきた。▼いつものようにおおよその時期は、秋ごろが良いと決めたが、日時が幹事が検討してから連絡するということだ。久しぶりの遠出と再会をなんとか楽しんでくることのできた。

## 人権考座 (人権啓発)

11月20日(日)に「一人が大切にされる地域を目指して」をテーマの人権考座へ参加し、講師で中教育事務所の佐々木先生から、お互いを理解するためのワークショップと分かりやすいお話で、人権を大切にできる地域づくりについて参加者で考えました。日常生活の色々な場面でも差別的なことを言ったりしていると思えます。思いやる気持ちや逆に差別と受け取られるなど、人権は難しいと感じました。参加者からも、「人権問題と聞くとき、目を背けてしま



▲長野美術専門学校による人権啓発ポスター

まうこともあるが、私たちの身近にも様々な悩みを抱え、苦しんでいる人がいると気付かされた。人権問題と向き合いたい、私ができることを考えた」と話していました。

## 健康体操教室

倭ふれあいセンター(元あづみ農協支所2階)では、健康体操教室が月1回開催されており、11月の教室には12人が参加しました。健康体操は、タオルを使って椅子に座ったままでもできる簡単な体操や、音楽をかけるながらリズムよく体を動かすチェアロピクスが行われていま



参加者に話を聞くと、「日中体を動かすと食欲もでて、夜ぐっすり眠れていい運動になる」と話していました。また別の参加者は、「近所の人たちと顔を合わせることができ楽しみにしている」と話しており、地域の交流スペースにもなっていました。主催者の方は、「健康はもちろんです。コロナ禍で家にいる時間が増えていたので健康体操に参加して、自己免疫を高めて欲しい」と話していました。実際にそれほど激しい運動

## ポッチャ体験会

11月26日(土)と12月3日(土)に梓川公民館でポッチャ体験会が開催され、大人と小



▲白いボールに近づける力加減が難しい

学生が一緒になり楽しみました。簡単そうに見えて奥が深く、皆さん夢中になっていました。



▼「次は青ボール」と審判に挑戦



▲楽しみながら笑顔で健康体操

まつもと市民祭が3年ぶりに開催された。旧梓川村民には馴染みの薄い行事ではあるが、数年前のデイズニーのパレードを観に行つてから何となく毎年の楽しみに変わったのも束の間、コロナ禍による中止が続いてしまったのだ。久しぶりの開催に胸を躍らせながら電車に乗ると、お年寄りから子どもまで、なかなかの混雑ぶりである。皆楽しみにしていたのだろうという様子が表情や会話から伝わってくる。

## 雑記帳

会場では様々なパフォーマンス、展示、露店などでものすごい賑わいをみせており、自然とテンションがあがってくる。お目当ての母校の書道パフォーマンスを直に見ることができ、生で見る迫力と可愛らしさは素晴らしいもので、ただただ感動するのみであった。このような芸術や音楽、スポーツなどを直接観られるようなイベントが松本市には多くあり幸せなことだと思つた。梓川地区も運動会に代わり地区の枠を取り外した個人参加型のお祭りのような文化祭を開催したらどうだろうか。



歴史探訪

探る松本 32

島立地区

奈良井川の西側に位置し、東部は商業地域、南部・西部には田園地帯が広がり、キュウリ、トマトの生産が有名です。

西の玄関口

人口 6686 人 (世帯数 2911)、長野自動車道松本 IC、長野県合同庁舎、松本市歴史の里、長野県松本筑摩高等学校、松本市立高綱中学校・島立小学校があります。コロナ禍でさまざまな活動が停滞していましたが、子どもを取り巻く活動は徐々に戻りつつあります。

子ども食堂から発展した「ゆいまゝる子どもひろば」は松本大学とボランティア団



森・杜探検隊ヤマメのつかみ取り

体の共催で月に一度、学習支援と遊びの居場所を提供します。住民の代表と育成会で運営する「森・杜探検隊」は子どもたちに自然を体験させる活動です。「寺子屋島立未来塾」は一年を通しての稲作体験や、長期休みの学習支援などを行っています。

それは昔から

地区名は、1347年(貞和3年)4月に足利尊氏から小笠原定宗にあてた下文に「島立」と書かれています。

西に向かう野麦街道(飛驒道)、北に向かう千国街道・仁科街道が地区内を通過しており、越中富山や糸魚川などとの交易の重要拠点でした。

古くは縄文の遺跡があり、高速道路工事に伴う発掘調査では、奈良・平安時代の複合住居跡が確認されました。左波理椀(銅合金の椀)や釉薬のかかった焼物が出土し、身分の高い人が住んでいたと考えられます。



発掘調査見学会の様子は公民館島立版 令和4年9月号、11月号で



次世代に伝える

沙田神社は酉と卯の年に御柱祭が行われます(諏訪大社の翌年)。正行寺には源氏の武将佐々木高綱(了智上人)の墓があり、その子孫といわれる乃木希典大将が詣でました。近くに乃木殿(石塔)が建てられ、乃木橋などにも名が残っています。

津島牛頭天王社の、子どもの裸祭りは県無形文化財に指定されています。ほんぼんと青山様、荒井観音堂の八日念仏や団子投げ、道祖神の彩色など民俗行事も残されています。

子どもたちの活動は、今後実施できる方法を探りながら、新しいものも取り入れていきたいと考えています。

 **松本平の野鳥たち**



オオマシコ (2023.1 大峰高原 写真提供:信州野鳥の会)

全長17cm アトリ・ヒワの仲間で、雪の似合う赤い鳥(オス)として人気が高い。日本では冬鳥として本州中部以北に渡来するが、数はそれほど多くなく、アルプス公園でも稀に見かける程度。萩の実などを好んで食べる。「ピーツ ピーツ」「ピツ」などの短い声を出す。

 **表紙について**

**松本ウインターイルミネーション**



12月1日(木)～令和5年2月28日(火) 午後6時から9時 毎日開催。昨年に引き続き開催する冬のイベント。松本城のレーザーマッピングを中心に、各商店街や大型商業施設が連携し、松本のまちを明るく彩るイルミネーション。

(撮影 2022.12.9 松本城)